

やまめ



新たな担い手たち (林業大学生)

- 保育料無償化 (9月定例会)
- 12年間の再建の成果は (一般質問)
- 当初予算と補正予算 (ヒトコマ)
- 風が繋ぐ (わたしの想い)



こんなことが決まりました

子育て支援・幼児保育料を無償化！

—五木村独自0歳から2歳児も対象—



どんぐりを拾う元気な園児たち

提出案件のうち、指定管理者の指定の変更（子守唄公園及びかやぶき民家）については、3月定例会で指定されたばかりであり、指定の変更は時期尚早であるとの議会の指摘により提案を取り下げた。

そして議案については、報告2件、専決処分承認1件、条例の一部改正2件、補正予算7件、決算認定10件の22件、提案のとおり可決成立した。

一般質問については4人の議員がそれぞれ村長、担当課長に考えを質した。

令和元年、第3回五木村議会定例会を9月10日から17日まで8日間、開催した。今回の定例会は、村長の任期が10月20日となることから決算認定を速やかに審議する必要があると判断。平成30年度の決算認定案件を会期中に審議する事として決算認定審査特別委員会を設置、委員長に黒川麻里子議員、副委員長に西村久徳議員を選出し、12日、13日に特別委員会を開催して審議を行った。

—自動車の操作間違い事故防止装置補助

1台あたり5万円（上限）補助へ—

議案については、41号で幼児教育、保育の無償化に伴い2歳以下の幼児については無償化の対象とならないため、本村独自の子育て支援として保育所に在籍するすべての幼児の保育料を無償化する議案、42号は、印鑑条例で旧氏での印鑑登録が可能となり印鑑証明書に旧氏が記載できるよう改正。43号一般会計補正予算の主な案件は、職員退職1名の人件費292万円の減、交通安全推進費で、高齢者の自動車急発進防止装置取付け補助金として450万円、自動車1台あたり費用の90%、5万円を上限とし補助。ジュニアオリンピック全国大会出場の横断幕制作委託、出場助成金28万4千円、災害復旧費林道日当線1、344万円、公共土木災害復旧費、村道川辺川線3、444万円などが含まれる。



踏み間違い防止装置のパンフレット

[審議した議案と結果]

賛成…○ 反対…×
欠席…欠

議 案 名		審議結果	岡本 精二	早田 吉臣	藤本 新一	中村 俊也	黒川 麻里子	川邊 正美	西村 久徳
村長提出議案									
一部改正	五木村保育所設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	五木村印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度補正予算	令和元年度五木村一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度五木村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度五木村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度五木村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○

平成 30 年度決算認定審査特別委員会

平成 30 年度決算の認定は、本会議会期中の 9 月 12 日、13 日の二日間開催し、一般会計 1 件、特別会計 9 件の計 10 件について審議した。

決算審査では村長、教育長ほか各課長等職員出席のもと提出された資料や決算書全般に亘って質疑応答を行った。その後委員間で意見を取りまとめ、定例会最終日の 17 日に次の事項を指摘し、全会一致で認定した。(委員長：黒川麻里子、副委員長：西村久徳)

平成 30 年度歳入歳出決算額

会計名		収入済額	支出済額	差し引き残額
一般会計		37 億 1,834 万円	35 億 5,163 万円	1 億 6,671 万円
特別会計	国民健康保険特別会計	1 億 5,369 万円	1 億 3,990 万円	1,379 万円
	ダム対策事業特別会計	6 万円	5 万円	1 万円
	簡易水道事業特別会計	2,026 万円	1,789 万円	237 万円
	農業集落排水事業特別会計	1,069 万円	1,054 万円	15 万円
	介護保険特別会計	2 億 1,034 万円	2 億 367 万円	667 万円
	代替地上下水道事業特別会計	1,340 万円	1,338 万円	2 万円
	後期高齢者医療特別会計	2,181 万円	2,147 万円	34 万円
	墓地公園特別会計	73 万円	48 万円	25 万円
	情報通信事業特別会計	3,138 万円	3,125 万円	13 万円
計	41 億 8,070 万円	39 億 9,027 万円	1 億 9,043 万円	

※四捨五入により合計は必ずしも一致しません。

指摘した主なもの

- ・ 決算書のミスが多く見受けられた。慎重さとチェック体制を見直すこと。
- ・ 村税等の未納について、収納率の向上に努めること。
- ・ 適切な業務委託となっているか、委託先への指揮監督を怠らないこと。
- ・ これまでの事業効果および成果の検証をもとに、住民の期待に沿ったものとする。





藤本新一 議員

3期12年間の再建の成果は

和田村長 一部の成果はあるが人口減少等反省面もある

質問 12年間村の再建に取り組み、その成果をどう受け止めておられるか。

村長 就任して約一年後に知事のダム白紙表明、民主党政権のダム中止等があり、立村計画、水特法での整備計画等が進めない状況になる中で、林業主体の産業への取り組み、交流人口施策、携帯電話整備を進めたが、就任時から2000人位、人口減少しており反省の面もある。また卒業される子供達が五木村出身と堂々と言えるようになった。小学校、中学校の全国一斉学力テス

ト等成績が上位にあり、非常に良かったと思っている。

質問 新聞報道では水没予定地の利活用、道路整備等一定の成果があったとの発言があるが、歴史文化交流館、森と溪流五木ステイ等の経営は厳しい状況にあり、次期村長にどう申し送る考へか。

村長 ふるさと五木村づくり計画も5年間延長の初年度であり、各施設の目的を伝える。

五木ステイについて

質問 森と溪流五木ステイは計画時に食材に地産地消の取り組みを進言してきたが、開業してみると地元食材が使われていない等で、村民がこの施設に愛着がない。村民も利用する食事処として検討をしたのか。

総務課長 村民の収益につながるように野菜等、道の駅で購入しているが、支配人の考えでは契約栽培の購入価格であり、今協議をしている。

質問 この施設は宿泊される

る方だけでなく、観光客や村民の食事処として料理の内容や料金等を検討されたのか。

総務課長 具体的に連携が取れない面もあり、全般的に検討したい。

質問 計画している宿泊人数で支配人、従業員の給料や諸経費等は賄えるのか。

総務課長 3月までの予約見通しでは6名体制で営業するようにしている。収益と支出等はうまくいっているが冬場の特別割引等、宿泊者を多くするよう検討したい。

質問 この施設内に木工体験の場の計画があったがどうなったのか。

総務課長 何を作るかが見い出せていない状況であり、継続して検討していく。

質問 林業の村として葉枯らし材、五木源住宅を進めている。その端材を活用し、森林所有者にも還元ができる重要な施設ではないか。

ふるさと振興課長 施設整備を支配人と協議していく。

水没予定地の中央エリアについて

質問 中央エリアの整備は、



森と溪流五木ステイ

その他、公共施設の年間維持管理の計画書作成についても質問した。

村民や子供の声が反映された整備が必要と思うが。
ふるさと振興課長 今年1月から5回審議会を開催している。整備方針として、原風景を再現する方向で検討している。
質問 村民、子供の声が反映され、愛着をもって頂く整備が重要ではないか。
ふるさと振興課長 今後審議を進める段階で検討したい。



川辺川ダム建設計画等について、五木村の方針を決めるべきでないか

和田村長 五木村の再建を優先



岡本精二 議員

質問 和田村長の任期が10月20日であることから、ダム建設計画について3点を尋ねる。第1点、蒲島知事が現行の川辺川ダム建設計画を白紙撤回し、ダムによらない治水対策を極限まで追求すべきと表明。このことから10年を経過している五木村として方針を決め、国・県に示すべきでないか。

村長 生活再建を協議する場を通じながら、五木村は今のところダムのいかにかわからず五木村の再建を優先すべきであろうと思う。

質問 第2点、村議会では知事の白紙撤回、当時の国土交通大臣がダム中止の表明をされて平成22年12月「川辺川ダム計画に対する次世代を担う五木村民への伝言について」議員提案により全会一致で可決した。その内容「川辺川ダム建設計画による五木村の衰退を実際

に体験した者として、将来に再び川辺川ダム建設が動き出すような事態を迎えた場合は、二度と過去の歴史を繰り返さないよう、くれぐれもダム計画による五木村の繁栄に期待しないよう願う。」この件について、村長はどのように受け止めているか。

村長 長いこと翻弄された小さな村が突如としてダム計画が中止され、村には事前に相談も無くこういう公共事業があつてよいのか。今後村民がこのような場面に遭遇した時には、簡単に乘つてはいけない戒めの決議と受け止める。

質問 第3点、平成23年6月第5回五木村の今後の生活再建を協議する場において、決定された事項以外について、公共補償等で整備される予定であった川辺川右岸道路（掛橋・頭地・頭地



工事が中断したままの付替道路（逆瀬川）

10月からの消費税改正の対応
質問 10月から始まる消費税の増税に伴い、五木村で

（逆瀬川間）の整備計画はどうなっているのか。

村長 その決定事項は、やらないという決定でなく、「今はやらない」という決定。将来的にやらないという決定ではないので今後も国・県に対して要求していきたい。

は公共料金等改正についてはどのように対応を考えているか。

総務課長 10月から消費税が10%に改正されるが、村の公共料金等変更はしない方針。ただし、上水道料金は消費税の課税事業者であり増税2%分が加算された金額になる。



早田吉臣 議員

次の村長へ託す事は

和田村長 林業の活性化と雇用の確保

質問 10月29日任期満了で勇退されると全員協議会で発言されたが、決意された理由は。

村長 就任して12年という節目であり、しかも令和元年で始まる時期。また、水没予定地の利活用についても、ほぼ目途が付いたこと。そして、私も72歳、これから4年後は76歳になるので、高齢になり過ぎはしないかと思判断した。

出来てドウ（実施）無しで良いのか、計画を作れば良いのかその判断は。

村長 行政はずっと続いていくもので、そのプランは私一人で作ったものではない。職員や県とも協議をしてつくったもの。そのプランに沿って実行してもらいたい。

質問 ダム問題が紆余曲折あった中で一番印象に残っている事。また、ここはやりたかった事などはないか。

村長 一番ショックな出来事はダムを前提としていた村づくりが「ダム白紙撤回」で方向転換になったこと。その中でも2本柱である林業振興は、森林環境税、林業大学の設置、交流人口についてはヒストリアテラスの利活用、森と溪流五木ステイの活用も指摘されているが社会資本交付金で2か所の指定を受け施設整備は進んだと思っている。

質問 人口減少についての要因をどの様に分析されてきたのか。

村長 社会減それに林業従事者の高齢化に伴う減少。交流人口を増やすことによ

り人口減少に歯止めをかけたいと林業、商工業の方たちと協議してきたが、良いアイデアが出てこなかったのが現状である。

質問 人口減少に対して転出者、やむなく村を離れることになった方へのアンケート調査などは行ってきたのか。

村長 2年に1度程度、全村調査を行ってきた。移転された方は、学校教育やクラブ活動、そして職業の選択でやむなく転出されてしまいう例などがある。去年の移住者は27人であった。

質問 村長として、次のリーダーに託しておきたいことは何か。

村長 五木村の主産業は林業なので、その発展、出来れば村内で出た木材は、村内で確保して雇用が増すような振興策と交流人口を増やして、消費活動、消費額が増えるような施策をやり遂げてもらいたいと期待している。



伐倒作業（林業大学）



ダム白紙撤回の号外記事



ライン 情報発信にLINEの導入を

総務課長 対応可能か検討していく



黒川麻里子 議員

ふるさと納税について

質問 今年のふるさと納税額は現時点でどのくらいか。また、一番人気の返礼品は。

総務課長 7月末時点で500万円弱となっている。返礼品の数が90品程の中で、一番人気は干し椎茸で全体の3割を占める。また、次に人気の商品は椎茸スライスとなっている。

質問 寄付される際に用途を指定されると思うが、どういった割合になっているか。また、これまでの寄付額を累計するとそれぞれの使途でどのくらいの金額になるか。

総務課長 1番多いのは「村におまかせ」で57%（1,620万円）、2番目に「自然環境保全、景観維持」で13%（379万円）、3番目に「社会福祉、少子高齢化」で12%（332万円）、4番

目に「教育、スポーツ活動」で11%（304万円）、5番目に「産業振興」で5%（125万円）、最後に「歴史文化保存」で2%（64万円）、合計で約2,800万円となっている。

質問 今後寄付金をどのように使っていく予定か。

村長 寄付額の半分は事務経費、残りは今の所積み立てに回している。来年度からは目的に応じて必要な額で足りない財源に充当させたい。

観光拠点の高齢者・障害者対策

質問 子守唄の里として観光に来られるお客様は高齢者が多いが、観光拠点のバリアフリー化はどの程度なされているか。また、整備が必要箇所については検討されているか。

ふるさと振興課長 昭和か

ら平成の中盤に整備された公園やキャンプ場はバリアフリー化はされていない。近年整備された施設はバリアフリー化されている。整備が必要な場合、費用がかかるので財源をどうするか、といった懸念がある。前向きに検討し、結果が出たら議会にも報告する。

質問 世間では踏み間違い事故が多発している。道の駅は駐車場の目の前にテールやベンチがあり、踏み間違いによる危険性が非常に高い。対策は考えておられるか。

ふるさと振興課 今後検討していきたい。

防災対策について

質問 千葉県の台風被害では停電が続いたが、本村では工事中の防災無線の予備電源の能力はどのくらいか。予備電源が喪失した場合の対応は。

総務課長 親局（役場）は48時間、子局、中継局が72時間となっている。稼働させ続けるためには給油し、発電機を動かすしかない。倒木等で3日以内に現地までたどり着けない場合はそこでもう連絡手段が消滅し

てしまう。

質問 他町村ではLINEで災害状況や避難情報等を発信している。村外に働きに出ている方、観光客、耳の不自由な方への情報提供として、非常に有益だと考えるが、本村でも導入できないか。

総務課長 現在はエリアメールで対応している。LINEについてはホームページ上から登録してもらおうシステムの構築を来年3月までにしたい。

質問 エリアメールは警報発令の段階にならないと送信されない。事前に情報発信をしておく事は計画を立てる上でも必要と思うが、早めに導入できないか。

総務課長 ホームページの構築より先行して対応可能か検討していく。

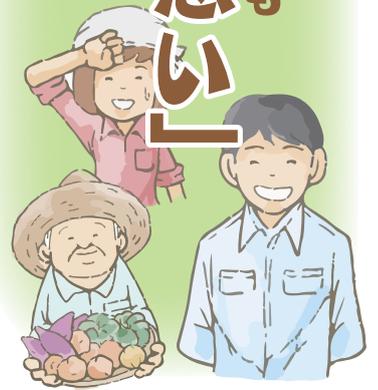


道の駐車場

むらびと

「わたしの想い」

おも



今回のむらびと

そのだ ひさし
園田 久さん

(頭地地区)

「風が繋ぐ」

私が幼少の頃、両親は年中、山仕事をしていた。夏の暑いある日、仕事から帰った両親が『今日はぬっかつたばって風のあったでえー はかどつたあー 気色のよかつたなあー』などと話していたことがあります。私は、風とはそういうものなのかと感心して聞いていました。

あれから十数年後、両親はすでに他界し、サラリーマン時代を経た私は、46歳で同じ山仕事を始めました。毎日



した仕事の合間、涼しい風を感じる

とがあります。そんな時、幼少の頃の思い出、若かつた両親の姿や二人の会話を懐かしく思い出します。そして世代を流れる風に心地よい気持ちになるのです。



山に登り、最近
はチェーンソーを
使って木の伐採
をしています。
危険な作業であ
るため一瞬一瞬
が緊張の連続で、
決して楽な仕事
とは言えません。
しかし、そう

● 議会の動き (7月～9月) ●

- 7月 8日 常任委員長・議会運営委員長研修会 (各委員長)
- 10日 定例全員協議会 (全議員)
広報委員会 (第1回)
川辺川ダム促進協議会・三期成会合同総会 (岡本議長)
- 11日 定例郡議長会議 (岡本議長)
- 16日 広報委員会 (第2回)
臨時全員協議会 (全議員)
- 17日 決算審査 (中村監査委員) ~ 19日
全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会 (岡本議長) ~ 19日
人吉下球磨消防組合議員視察研修 (岡本議長) ~ 19日
- 18日 小鶴原女木線期成会総会 (早田副議長)
- 22日 広報委員会 (第3回)
決算審査 (中村監査委員) ~ 24日
- 24日 五木湯前線期成会総会 (岡本議長・藤本経済委員長)
- 25日 例月監査 (中村監査委員)
球磨川水系川辺川砂防促進期成会総会 (岡本議長)
- 26日 広報委員会 (第4回)
- 29日 決算審査 (中村監査委員)
- 30日 五木村森林組合総会 (岡本議長)

- 8月 2日 経済常任委員会 (各委員)
下球磨正副議長会総会 (岡本議長・早田副議長)
- 3日 八代天草架橋建設促進総決起大会 (岡本議長)
- 5日 県正副議長研修会 (岡本議長・早田副議長)
- 7日 県監査委員総会・研修会 (中村監査委員)

- 8日 定例全員協議会 (全議員)
定例郡議長会議 (岡本議長)
決算審査 (中村監査委員)
- 10日 人吉・球磨スマートIC開通記念式典 (岡本議長)
- 20日 決算審査 (中村監査委員) ~ 21日
- 22日 例月監査 (中村監査委員)
- 23日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会 (川辺議員)
決算審査意見書提出 (中村監査委員)
- 24日 人吉下球磨消防組合出場全国技術大会 (岡本議長) ~ 26日
- 28日 経済常任委員会 (各委員)
- 29日 郡監査研修会 (中村監査委員)
- 30日 人吉球磨広域行政組合第3回定例会 (黒川・川辺議員)
- 9月 2日 定例郡議長会議 (岡本議長)
- 3日 八代市長訪問 (岡本議長)
- 4日 定例全員協議会 (全議員)
議会運営委員会 (各委員)
- 5日 第13回五木村の今後の生活再建を協議する場 (全議員)
- 10日 第2回議会定例会 (全議員) 開会 ~ 11日
- 12日 決算認定審査特別委員会 (全議員) ~ 13日
- 17日 第2回議会定例会 (全議員) 閉会
- 26日 例月監査 (中村監査委員)
人吉球磨広域行政組合視察研修 (黒川・川辺議員) ~ 27日
- 30日 下球磨町村議会議員グラウンドゴルフ大会 (全議員)

五木の重々物 植物シリーズ No.15



イタドリの花 (白)

イタドリ(サド)の花 タデ科イタドリ属

日当たりのよい土手、空き地、山の斜面などに生えている。春にタケノコ状に若芽が伸びだす。山菜として利用する他、薬用にも使用される。花は種類により違い、五木では白とピンクが見られ9月から10月ごろ咲く。イタドリと言う名前は、若葉をもんで患部に当てると傷の痛みが治る(痛取り)ということから付いたようである。



イタドリの花 (ピンク)



編集後記

台風19号が10月12日静岡県伊豆半島に上陸し、暴風域に入った地域では記録的な大雨により河川が氾濫し甚大な被害が発生しました。

近年大型台風が発生するのは地球温暖化が影響していると言われています。温暖化の原因である二酸化炭素等の排出量を削減することが、今すぐにやるべきことだとも言われています。全体的には産業、運輸が大半を占めていますが、家庭から出されるゴミからも二酸化炭素が排出されています。

ここ2、3年人吉球磨地域でも可燃ゴミの量が増えています。ゴミの細かい分別をすることで可燃ゴミを減らすことが出来ます。排出量全体から見れば小さいことかもしれませんが、私達一人一人に出来ることから始めるのも大切なことではないでしょうか。

川邊 正美

お詫びと訂正

前回発行やまめ129号「むらびと『わたしの想い』」でお名前の字に誤りがありました。

訂正のうえお詫びいたします。(7ページ、誤)下村翔平さん→(正)下村祥平さん



次回の定例会は12月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。